

『令和元年度 災害時学校支援チームみやぎ【養成研修Ⅲ】』を開催しました(2019/12/24)

テーマ：学校支援、災害時派遣

場 所：災害科学国際研究所 多目的ホール

2019年12月24日、宮城県教育委員会の主催、東北大学災害科学国際研究所の共催により、当研究所多目的ホールにて、「令和元年度 災害時学校支援チームみやぎ【養成研修Ⅲ】」が開催されました。

本研修は、大規模な災害の発生に伴う被災地において予想される学校教育の混乱の解消に向けて、被災自治体の要請に基づき、教育復興を支援する「災害時学校支援チームみやぎ」の構成員候補者が、支援に向けた高い意識と専門的知識、実践的対応能力を身に付けることを目的としています。

また、本研修の受講者は、災害時学校支援チームの結成に向けて宮城県教育委員会が平成30年11月に実施した、教員の意向調査の結果をもとに選考された約40名の候補者です。受講者の職種は教諭が最も多いですが、主幹教諭や事務長、養護教諭や栄養教諭など多様な職種が含まれています。

この日の研修では、講義1として、「TEC-FORCEの活動概要」と題して、国土交通省東北地方整備局の成田秋義 総括防災調整官による講義、講義2として、「DMATの活動概要」と題して、当研究所の佐々木宏之准教授（災害医学研究部門）による講義が行われました。その後、「派遣に備えて」と題してグループ討議が行われました。グループ討議では、2016年の熊本地震の際に熊本県内の学校に実際に派遣された教員が指導助言者として参加し、貴重な経験を受講者間で共有することができました。

最後に、宮城県教育庁の伊東昭代 教育長より受講者の代表者に受講修了証が授与され、それを受けて修了者代表が災害時学校支援チームみやぎの一員としての意欲を述べました。



佐々木宏之准教授の講義の様子



グループ討議の様子



受講修了証授与